

南アフリカ共和国

2022年12月5日

海外調査部・ヨハネスブルク事務所

2021年の南アフリカ共和国（以下、南ア）の実質GDP成長率は4.9%のプラス成長だった。7月に発生した国内での暴動や新型コロナウイルス感染症の拡大により一部の経済活動が制限されたが、世界的な経済の回復や国内経済活動の再開により、輸出入額はともに増加した。輸出は、前年に引き続き貴石・貴金属をはじめとする資源が好調だったこともあり、全体で31.0%増加した。輸入は、鉱物性燃料が国内需要の高まりにより大幅に増え、全体で23.0%増となった。対内直接投資額は前年比12倍となり、大型投資も行われた。

■厳しいロックダウンは行わず、成長率は大幅改善

2021年も新型コロナ感染拡大が続いたが、ワクチン接種者の増加もあり、政府は厳しいロックダウンを実施しなかった。経済活動への影響は最小限に抑えられ、実質GDP成長率は4.9%と前年のマイナス6.3%から改善した。一方、7月に、汚職容疑でジェイコブ・ズマ前大統領が収監されると暴動が発生し、ダーバンなど一部地域で生産活動や物流が一時停止した影響で、第3四半期（7～9月）はマイナス成長に陥った。

産業別にみると、特にGDPの約2割を占める金融・保険・不動産業・企業サービス部門が活動再開・活性化し、2021年は前年のマイナス4.4%から3.7%増に回復した。そのほか、鉱業が11.8%増、農林水産業が8.3%増、製造業が6.6%増、個人向けサービスが5.3%増と、電気・ガス・水道以外の全ての項目がプラス成長となった。一方、11月末の観光シーズンにオミクロン株が発生し、各国が南アへの渡航を制限したことで、観光業の成長は鈍化した。

需要項目別では、2020年に2ケタのマイナス成長だった国内総固定資本形成、財貨・サービスの輸出および輸入がプラスに転じた。また、民間最終消費支出も、規制緩和によって日常生活を制限されていた一般消費者が経済活動を再開したことで、前年のマイナス5.9%から5.6%に回復した。特にレストラン・ホテル（18.3%）、衣類・履物（12.5%）、交通費（9.9%）が主な押し上げ要因となった。

表1 南アフリカ共和国の需要項目別実質GDP成長率
(単位：%)

	2020年	2021年				2022年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	△6.3	4.9	0.8	1.4	△1.8	1.4	1.9
民間最終消費支出	△5.9	5.6	0.5	1.6	△2.8	3.0	1.4
政府最終消費支出	0.8	0.6	△0.6	0.4	0.5	0.2	1.0
国内総固定資本形成	△14.6	0.2	△3.1	△0.3	△1.1	1.6	3.6
財貨・サービスの輸出	△11.9	10.0	1.7	3.0	△6.9	8.3	3.9
財貨・サービスの輸入	△17.4	9.5	6.7	0.2	△3.4	8.4	4.9

〔注〕四半期の伸び率は前期比。

〔出所〕南ア準備銀行

■輸出拡大、白金族などの資源が牽引

南ア歳入庁によると、2021年の貿易（通関ベース、暫定値）は、輸出が前年比31.0%増の1兆8,258億ランド、輸入は23.0%増の1兆3,813億ランドとなった。貿易収支は4,444億ランドで6年連続の黒字となった。

輸出額を品目別にみると、輸出増に最も貢献したのは貴石・貴金属など（構成比28.2%）で、58.9%の大幅増だった。貴石・貴金属などの中でも、全体の半分以上を占めたのは白金族で前年の2倍となる3,417億ランドを記録した。白金族は、南アが世界の8割近い埋蔵量を持つ。白金族は自動車排気ガス浄化用触媒や水素製造の電極に使われるため、環境配慮の世界的な潮流の中で今後もニーズが高まることが予想される。そのほか、鉄鉱やマンガン鉱などの鉱石・スラグおよび灰（15.0%）が29.8%増、次に輸送機器（8.6%）が16.1%増となった。輸送機器の中で好調だったのは、乗用車、貨物輸送用自動車、自動車用部品、トラクターだった。2020年にマイナスだった鉱物性燃料もプラスに転じ、上位7品目全てで輸出額が伸びた。

国・地域別輸出では、中国がトップ（構成比11.2%）で、2,042億ランドを記録し、対中輸出は3年連続で増加した。次に、1,928億ランドの米国（10.6%）、1,550億ランドのドイツ（8.5%）が続き、日本は4位（6.7%）で1,215億ランドだった。

■輸入増加、石油や原油のほか、輸送機器用のOEM部品が大幅増

輸入額を品目別にみると、上位7品目の全てが増加した。最も増加したのは、鉱物性燃料（構成比16.5%）で45.4%増だった。その中でも顕著であったのが石油（原油を除く）で、52.0%増（金額ベース）、22.0%増（数量ベース）だった。石油輸入の増加要因としては、油価の上昇以外に、国内での電力不足やディーゼル焚き発電用石油のニーズの高まり、既述の7月の暴動でダーバンにある南ア最大の製油所であるサプレ製油所が一時操業停止に追い込まれたことが挙げられる。同製油所は、bpとシェルが共同出資する合弁会社により運営され、南ア全体の35%の供給量を担っていた。暴動の影響で国内での石油供給が滞り、輸入需要が高まったと考えられる。同製油所は2022年3月末以降、売却を視野に操業を停止中だ。

そのほか、特定分類規定品の輸送機器用のOEM部品が33.9%増となった。南ア自動車工業会（NAAMSA）の報告書によれば、これは南ア国内で製造する自動車メーカー7社の特定のOEM部品を指している。2021年の自動車生産台数が前年比11.8%増となったことに加え、トヨタが8月にカロラクロスの生産を開始するなど、南ア国内で新型車の生産が始まったことがOEM部品輸入増加の理由として挙げられる。新型車の導入に際しては、南アでは一般的に現地調達率が低い状態から生産が開始されるためOEM部品の輸入が増える傾向があり、タイやドイツ、日本からの輸入が多かった。

国・地域別に輸入をみると、トップは2,841億ランドの中国（構成比20.6%）で、15年連続のトップ

表2 南アフリカ共和国の主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ランド、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2021年 (暫定値)					2021年 (暫定値)			
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
貴石・貴金属など	324,174	515,047	28.2	58.9	鉱物性燃料	156,828	228,041	16.5	45.4
鉱石・スラグおよび灰	210,511	273,166	15.0	29.8	一般機械など	147,889	166,738	12.1	12.7
輸送機器	135,740	157,607	8.6	16.1	電気機器・同部品	115,416	127,328	9.2	10.3
鉱物性燃料	110,242	152,062	8.3	37.9	特別分類規定品(輸送機器のOEM部品等)	82,659	110,700	8.0	33.9
一般機械など	80,607	97,752	5.4	21.3	輸送機器	70,861	94,081	6.8	32.8
鉄鋼・銅製品	64,575	93,326	5.1	44.5	医療用品	39,217	45,234	3.3	15.3
果実・柑橘類など	62,568	65,280	3.6	4.3	プラスチックおよび同製品	33,237	43,165	3.1	29.9
合計 (その他含む)	1,393,989	1,825,760	100.0	31.0	合計 (その他含む)	1,123,357	1,381,327	100.0	23.0

【出所】南ア歳入庁

となった。前年に引き続き、ドイツが1,127億ランドで2位(8.2%)となり、米国が970億ランドで3位(7.0%)だった。なお、日本は384億ランドで7位(2.8%)だった。

■対内直接投資額は大幅に拡大

南ア準備銀行によると、2021年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年比12倍の6,043億8,800万ランドとなった。特に下半期に経済活動が再開し、欧州や中東に所在する外国企業などによる、一部事業の買収・増資が増加した。同行によれば、同年の最も大型の投資案件は、オランダに拠点を置く投資会社プロサスがコングロマリット企業ナスパーズの株式約45%を取得した案件だが、金額などの詳細は公表されていない。物流分野では、ドバイの物流会社DPワールドがインペリアル・ロジスティックスの株式を取得した(推定総額127億ランド、7月)ほか、デンマークに拠点を構える大手物流会社A. P. モラー・マースクが南ア物流会社のグラインドロッドらと合弁会社を設立し、同社の株式51%を取得した。医療・保険分野では、スイスの製薬会社アシノが、アスペンが製造する循環器疾患などの治療に用いられる医薬品ブランドを買収(18億ランド、8月)、チェコの化学会社であるドラスロフカホールディングがサソルのシアン化ナトリウム事業を買収(14億6,000万ランド、10月)、フィンランドのサンボグループが保険会社ヘイスティングの株式を完全取得した(6億8,500万ポンド、12月)。そのほか、オランダのアルコール飲料メーカーのハイネケンがワイン・蒸留酒メーカーであるディスティルを買収した案件は、時価総額約400億ランドとされる。

南ア企業の対外直接投資をみると、コングロマリット企業ビッドベストの顧客サービス部門を担うビッドベストヌーナントがアイルランドで建築環境向けの機械・電気・プロセスエンジニアリングサービスを提供するリンチインターアクトを買収(3月、金額非公開)した。そのほか、iGASがパイプライン会社ロンプロコの株式30%を取得(41億ランド、6月)、デジタル放送サービスのマルチチョイスがナイジェリアのスポーツベッティングを行うベットキングに増資(40億ランド、6月)、物流会社インペリアルロジスティクスがモザンビークのJ&Jグループを完全買収(44億ランド、7月)した。

表3 南アフリカ共和国の対内・対外直接投資額
<国際収支ベース、ネット、フロー・残高>

	2019年	2020年	2021年	2020年末残高
対内直接投資額	74,048	50,402	604,388	1,955,091
対外直接投資額	△45,464	32,109	△286	3,685,638

(単位:100万ランド)
〔出所〕南ア準備銀行「Quarterly Bulletin(四季報)」2022年6月号

■対日貿易額は輸出入ともに回復

財務省貿易統計によると、2021年の南アの対日輸出は前年比75.3%増の100億9,943万ドルで、対日輸入額は41.7%増の23億6,303万ドルだった。世界経済の回復で輸出入とも大幅に増加した。

対日輸出を品目別で見ると、白金族(プラチナなど)を含む非鉄金属が全体の輸出総額の8割近くを占め、78億7,306万ドルと87.4%増だった。次に鉄鉱石の6億5,380万ドルが続く。輸送機器関連として自動車、非鉄貴金属、鉄鋼が続く。しかし、自動車と自動車用の非鉄金属鉱は前年比減となった。特に自動車は、世界的に部品輸送等に必要なコンテナが不足したほか、既述の暴動で日系メーカーの工場が一時操業停止となり、26.6%減と大きく減少した。

対日輸入を品目別で見ると、自動車が前年比44.9%増の9億4,220万ドル、自動車部品が45.0%増の2億8,497万ドルとなった。自動車関連品目で、対日輸入全体の5割を超えた。次に、伸び率が全品

目で最大の56.3%増を記録した建設用・鉱山用機械が1億54万ドルだった。

2021年の日本から南アへの直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は602億円で、2年連続でマイナスを記録していた引き揚げ超過から転換した。しかし、2018年の1,613億円の水準には戻っていない。

2021年の日本企業による主な投資としては、凸版印刷の子会社であるトッパングラビティが南アの政府系IDシステムインテグレーターであるフェイステクノロジーを買収した案件が挙げられる。

表4 南アフリカ共和国の対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位: 1,000ドル, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
非鉄金属	4,201,112	7,873,062	78.0	87.4	自動車	650,056	942,195	39.9	44.9
鉄鉱石	345,582	653,798	6.5	89.2	自動車の部分品	196,586	284,969	12.1	45.0
自動車	335,743	246,563	2.4	△ 26.6	建設用・鉱山用機械	64,325	100,540	4.3	56.3
非鉄金属鉱	184,037	176,214	1.7	△ 4.3	鉄鋼	51,355	78,845	3.3	53.5
鉄鋼	179,985	308,407	3.1	71.4	ゴム製品	51,079	67,657	2.9	32.5
木製品等 (除家具)	150,069	210,715	2.1	40.4	電気計測機器	46,795	57,046	2.4	21.9
果実	72,301	78,824	0.8	9.0	荷役機械	42,852	50,574	2.1	18.0
合計 (その他含む)	5,761,992	10,099,429	100.0	75.3	合計 (その他含む)	1,667,207	2,363,029	100.0	41.7

〔出所〕財務省「貿易統計 (通関ベース)」をドル換算

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口: 6,014万人 (2021年央)			
②面積: 122万813km ²			
③1人当たりGDP: 6,950米ドル (2021年推計)			
④実質GDP成長率 (%)	0.3	△ 6.3	4.9
⑤消費者物価上昇率 (%)	4.1	3.3	4.5
⑥失業率 (%)	29.1	32.5	35.3
⑦貿易収支 (100万ランド)	38,987	289,346	448,095
⑧経常収支 (100万ランド)	△ 144,162	109,588	227,693
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	55,058	55,013	57,589
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	185,358	170,407	160,513
⑪為替レート (1米ドルにつき、ランド、期中平均)	14.45	16.46	14.78

〔注〕⑥: 第4四半期、⑦: 国際収支ベース (財・サービス)
 〔出所〕①④~⑥: 南アフリカ共和国統計局、②: 南アフリカ共和国政府、③⑪: IMF、⑦~⑩: 南アフリカ共和国準備銀行

(お問い合わせ先)

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp